

関係各位

2020年9月6日
日本スポーツ学会 事務局

日本スポーツ学会は、コロナ禍で人々が集まりにくい状況にあることから、
『スポーツを語り合う会』をビデオで発信いたします。

延期にはなっていますが、コロナ禍で厳しい状況にあるオリンピックです。
金がかかりすぎる、世界中でコロナが感染拡大する中でオリンピック開催など無理だろう等、
たくさんの否定的な意見が充満しています。
そこで日本スポーツ学会(※)は、幅広い知見の中で、2人のゲストスピーカーを迎えました。
今一度、広い視野でオリンピック東京大会を見つめてみませんか。

- ① 『嘉納治五郎だったら2020年東京大会をどうするのか?!』
この難局の時代に嘉納治五郎(初代IOC委員)が生きていたら、オリンピックをどう捉え、
どう考え、どう対応したのでしょうか……?
スピーカー 真田 久(筑波大学教授)

- ② 『刈屋富士雄 2020年東京大会へのロードマップ』
オリンピックの中継・取材を16回経験した元NHKアナウンサーは、
今、真にオリンピックに何を期待するのか?
スピーカー 刈屋 富士雄(元NHKアナウンサー)

上記2本を皮切りに、9月10日午前10時より、
日本スポーツ学会ホームページにて『スター・セミナー』と題したオンデマンド型の動画(視聴期
限は特にありません)を配信いたします。
この緊急事態をふまえて、配動画はどなたでも無料でご視聴いただけますので、ぜひPRをお願い
できればと存じます。

主催：日本スポーツ学会 <https://www.sports-gakkai.jp/>
協力：特定非営利活動法人スポーツネットワークジャパン
問い合わせ： sports.gakkai@gmail.com (日本スポーツ学会)
03-3323-0893 (スポーツネットワークジャパン)

※ 日本スポーツ学会は、1998(平成10)年1月、あらゆる競技の垣根を越え、市民レベルでスポ
ーツを文化として考えようと設立された。
会員は現役トップアスリートや元選手、大学等教員、企業、学生、メディア関係者と幅広く、会
員数は約150名。“心からスポーツを愛する”と胸を張れる方ならばどなたでも個人で会員にな
れる。日本スポーツ学会は、これまでにオリンピック休戦の呼びかけや、幻のモスクワオリンピ
ック日本代表を2020年東京大会の聖火ランナーに推薦する署名活動を行い、JOC(日本オリン
ピック委員会)、IOC(国際オリンピック委員会)に届けている。